

著者紹介

古川 壽亮 Furukawa Toshiaki

名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野教授、医学博士。1981年～1982年フランスPoitiers大学人文科学部留学、1985年東京大学医学部医学科卒業、名古屋市立大学病院精神科臨床研修医、豊橋市民病院精神・神経科、南知多病院勤務を経て、1995年名古屋市立大学医学部精神医学講座助手、1997年カナダMcMaster大学医学部精神科客員教授併任、1998年名古屋市立大学医学部精神医学講座講師、1999年同講座教授。研究歴・専門分野：感情障害の精神病理学・疫学・認知行動療法、社会精神医学、Evidence-Based Psychiatry。臨床疫学に関して8編、感情障害の精神病理学・社会精神医学に関して20編など約70編の英文原著論文のほか、「エビデンス精神医療：EBPの基礎から臨床まで」(医学書院、2000)、「精神科診察診断学」(医学書院、2003、共著)などに執筆。所属学会：American Psychiatric AssociationのInternational Member, international Society of Affective DisordersのFellow, Collegium International Neuro-PsychiatricumのFellow, Cochrane共同計画のDepression, Anxiety and GroupのEditorを務める。

洪 尚樹 Kou Naoki

洪内科クリニック院長。昭和55年名古屋大学医学部卒、昭和59年名古屋大学大学院修了、昭和60年から2年間アメリカ・マイアミ大学留学、おもに膵島細胞移植を研究。昭和63年名古屋大学第三内科助手、平成9年名古屋大学第三内科医局長、平成10年洪内科クリニック開院。日本内科学会認定医、日本糖尿病学会専門医、日本医師会認定産業医。研究歴：糖尿病性慢性合併症の成因と治療、糖尿病性ケトアシドーシスの成因と治療。所属学会：日本糖尿病学会評議員、アメリカ糖尿病学会、日本内科学会、日本循環器学会

稲垣 幸司 Inagaki Koji

愛知学院大学歯学部歯科保存学第三講座・歯周病学講師。愛知学院大学大学院歯科学研究科修了、歯学博士。昭和57年4月愛知学院大学大学院歯学研究科入学(歯科保存学専攻)、昭和61年3月愛知学院大学大学院歯学研究科修了、昭和61年4月名古屋市立大学病院歯科口腔外科研修医、昭和62年5月愛知学院大学歯学部麻酔学講座研修医、昭和63年4月愛知学院大学歯学部歯科保存学第三講座助手、平成元年4月愛知学院大学歯学部歯科保存学第三講座講師、平成12年10月ボストン大学歯学部健康政策・健

康事業研究講座在外研究、平成13年9月同大学より帰国、現在に至る。

研究歴・専門分野：歯周病学、全身疾患と歯周病との関連。

所属学会：日本歯周病学会、日本心身医学会、日本骨粗鬆症学会

野口 俊英 Noguchi Toshihide

愛知学院大学歯学部歯科保存学第三講座・歯周病学教授。東京医科歯科大学歯学博士。昭和49年12月スイス、チューリッヒ大学へ文部省在外研究員として出張、昭和51年12月帰国。昭和52年11月文部教官講師(東京医科歯科大学歯学部)、昭和60年1月文部教官助教授(東京医科歯科大学歯学部)、昭和62年4月愛知学院大学歯学部教授(歯科保存学第三講座)、平成10年1月学術審議会専門委員(文部省)、平成10年8月長寿科学総合研究事業評価小委員会委員、平成13年1月薬事・食品衛生審議会専門委員(厚生労働省)、平成13年3月医道審議会専門委員(厚生労働省)、現在に至る。研究歴・専門分野：歯周病学、全身疾患と歯周病との関連。所属学会：日本歯周病学会、日本歯科保存学会、日本レーザー歯学会。

近藤 厚生 Kondo Atsuo

小牧市民病院副院長。医学博士、Ph.D. 1964年岐阜県立医科大学卒業、1969年名古屋大学大学院修了(泌尿器科学)、1972年University of Sherbrooke,PhD課程修了(Quebec, Canada) 1989年名古屋大学医学部助教授、1997年小牧市民病院副院長、1998年名古屋大学臨床教授。研究歴・専門分野：二分脊椎症の診断と治療、尿失禁の診断と治療、神経因性膀胱。所属学会：日本泌尿器科学会、日本排尿機能学会、International Continence Society。

稲尾 意秀 Inao Suguru

名古屋第一赤十字病院脳神経外科部長、医学博士。1977年3月名古屋大学医学部卒業、1977年4月名古屋掖済会病院にて研修、引き続き脳神経外科勤務、1981年7月名古屋大学医学部脳神経外科非常勤医員、1983年1月岐阜県中津川市民病院脳神経外科勤務、1986年7月米国バージニア医科大学脳神経外科留学、1988年11月名古屋大学医学部脳神経外科助手、1997年4月名古屋大学医学部脳神経外科講師、1999年11月名古屋大学医学部脳神経外科助教授、2000年4月名古屋第一赤十字病院脳神経外科部長、

現在に至る。

専門分野：脳卒中、脳腫瘍、頭部外傷。

研究歴：虚血性脳浮腫の実験的研究、頭部外傷・脳損傷のMRIによる臨床研究、実験外傷脳における脳代謝のMRSによる研究、脳梗塞における神経賦活、循環・代謝のPETによる研究、脳血管バイパス術のPET研究、脳動脈瘤手術の臨床研究、良性脳腫瘍（特に髄膜腫）の臨床研究。

所属学会：日本脳神経外科学会、日本脳卒中学会、日本脳腫瘍の外科学会。

山本 纈子 Yamamoto Hiroko

藤田保健衛生大学医学部神経内科教授、医学博士。1969年4月名古屋大学医学部卒業、同年4月名古屋第一赤で研修、1971年4月名古屋大学第一内科（第4研究室＝現名古屋大学神経内科）に帰局、1973年7月渡米、1974年7月アメリカシンシナティメイフィールド神経研究室にて臨床研修、1976年9月名古屋大学第一内科（第4研究室）に帰局、1980年4月名古屋保健衛生大学（現藤田保健衛生大学）水野内科 助手として赴任、1981年2月藤田学園保健衛生大学水野内科講師昇任、1984年4月神経内科診療科開設とともに責任者となる、1984年7月藤田学園保健衛生大学神経内科助教授昇任、1988年2月藤田学園保健衛生大学神経内科教授昇任、現在に至る。

所属学会：日本神経学会評議員、日本神経眼科学会理事、日本心身医学会評議員、日本神経治療学会評議員、日本脳卒中学会評議員、日本内科学会評議員、日本糖尿病学会、日本神経病理学会、日本老年医学会、Membership of American Academy of Neurology

高柳 泰世 Takayanagi Yasuyo

1958年名古屋大学医学部卒業、1973年本郷眼科開設、1981年愛知視覚障害者援護促進協議会設立、1984年文部省『色覚異常児童生徒のための教科書態様改善に関する調査研究委員会』委員、1989年日本学校保健会『学校環境衛生指導委員会』委員、1991年日本医師会最高優功賞受賞、1992年日本女医会吉岡弥生賞受賞、1994年厚生省健康政策局『色覚に関する検討会』委員、1994年朝日新聞朝日社会福祉賞受賞、2003年厚生労働省『医薬品・医療用具安全対策眼科用材ワーキンググループ』委員、2003年国土交通省『小型船舶操縦士の弁色力に関する検討委員会』委員。現在名古屋大学・愛知医科大学・愛知県立芸術大学非常勤講師、日本産業衛生学会評議員、名古屋市学校医会副会長。

専門分野：眼科リハビリテーション。

所属学会：日本眼科学会、日本産業衛生学会、日本公衆衛生学会。